

秋田県スポーツ関係団体新型コロナウイルス感染拡大防止説明会（11/2）

質問事項とその回答

No.	項目	内 容
Q 1	大会実施にあたって	入場・観戦者の制限、大会実施時の消毒剤の使用等に配慮して大会を行ってきたが、どの程度の規制・配慮が求められているのか。
A		<p>政府、スポーツ庁、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、秋田県でガイドラインを作成・改訂しながら示しているのので、基本的には、それを守り、「ウィズコロナ」という形でやるのが大切です。</p> <p>入場・観戦者の制限に関しては、具体的には、消毒の徹底、マスク着用の徹底、症状がある人の制限、参加者の把握、密集の回避等の感染防止策を講じた上で、1万人を超える会場の場合は収容人数の50%、1万人以下の場合は5000人までとなっています。また、5人以内のグループであれば、間隔を空ける必要はありませんが、個人の場合は最低でも1m以上の十分な人と人との間隔を取ることになります。さらに、応援するときには大声を出さないことが大切です。</p> <p>消毒剤の使用に関しては、基本的には、次亜塩素酸ナトリウムの0.05%以上のものを使用した方がよいですが、洗剤も有効です。</p>
Q 2	県外との往来に関して	県外の大会への参加、同様に、県外からチームが集まって行う大会の実施の可否や注意事項は。
A		<p>県外との往来についてもガイドラインを守って、開催場所や参加チームの地域での感染状況をしっかり見極めることが大切です。</p> <p>具体的には、現在、感染が蔓延している地域でないことが必要です。さらに、その時々での感染状況によって、県外からの参加は遠慮してもらう判断も必要です。</p> <p>もう一つは、大会の2週間程度前から体調管理をしっかり行い、健康チェックや行動履歴などをきちんと記録しているようなチームと試合を行うと安心です。しばらくは「ウィズコロナ」という形でやっていくしかありません。</p>
Q 3	マスクについて	一般論で構いませんが、交換の時期と保存の仕方について教えてください。
A		<p>マスクの主な目的の一つは、自分の飛沫を相手に浴びせないことです。交換の時期は、その方がどこで、どのような行動をしているかということに関わります。病院では一つの処置が終わった時に交換しますので、1日に何回も交換します。しかし、病院と一般の生活は違うと思いますので、基本的には1日に1回でしょう。日常生活の場合は、効果は十分にありますので布マスクを使ってやっていくとよいでしょう。また、ガーゼを交換しながら使うという対策も考えましょう。</p> <p>咳エチケットと同じく、マスクを入れる袋を持って歩くなどのマスクエチケットも大切にしましょう。</p>

Q 4	抗菌・制菌加工について	我々が使う用具の中で「抗菌」加工や「制菌」加工があるが、その信頼性について教えていただきたい。
A	<p>コロナはウイルスで「菌」ではないので、あまり関係ないと思います。その製品自体に菌が含まれていない、あるいは表面が加工されていて菌が滑り落ちるものがあるかもしれませんが、コロナウイルスから守ることができるという明確なものはないと思います。</p>	
Q 5	換気について	大会を開催する会場の形によって違うかもしれないが、換気の頻度と時間、方法等を教えていただきたい。
A	<p>換気の効果については、実際の場所で考えるので、それぞれの施設で実験してみないと分からないと言うのが正直なところです。しかし、周囲に観客席があるような、すり鉢状の体育館の場合、下の部分のある一定の空間の空気しか動いていないことが想像できます。</p> <p>換気で大事なことは、自動車の外気循環のように、外側の空気を吸い込んで、内側の空気を外に出すという風の流れ・空気の流れを作ることです。そのために、補助となる扇風機などがあればよいと思います。一般にエアコンの空調は中の空気を回すということなのでコロナに対してはあまり効果はありません。飛行機は、このシステムがすばらしくて、かなり早く換気ができると言われています。</p>	
Q 6	卓球競技について	日本卓球協会ではダブルス練習を推奨しないとし、全日本大会でも中止になったが、県単位ではダブルスをやっているが、やってもいいものか。さらに、収容人数の50%という基準では、会場を確保するのにかなり苦労をしているのでその理由を教えていただきたい。
A	<p>大会にどういう状態で臨むかということと、感染の流行状況や流行地域によっても違いがあります。手指衛生やマスク着用、三密を避けるなど、選手や指導者、家族を含めて、練習場だけではなく普段の生活でも、どれだけ自分の生活をコントロールできるかにかかってきます。ダブルスを組む相手が、同じグループやチームで、しっかりセルフコントロールできていれば問題ないでしょう。</p> <p>チェンジエンドについては、選手が声を出すと飛沫が飛び、卓球台を介して相手選手に感染する可能性があることを考えると、自分のサイドを決めておいた方が安全です。どのような感染対策をしているかが分からない相手チームだと仮定すると、サイドを決めて動かさない方がよいと思います。また、選手が入れ替わる際にも、消毒剤で拭くのが大切です。また、手指消毒や試合をするまではマスクをすることなども気を付けましょう。</p> <p>収容人数については、国が示している基準を守ってください。相手チームとはきちんと分けた方がよいでしょう。これは、万が一の場合に、そのチームだけ、あるいはできるだけ小さなクラスターで抑えたいということです。</p> <p>正しい知識をもって正しく恐れるということが大切なことです。</p>	